

ゴルフと自分

齊藤 優作

これは小学校の時に教えたもらった話ですが、五月二十八日はゴルフの日のようです。そして、その日に僕は生まれました。(ゴルフの日はスポーツメーカーのミズノの直営店のエスポルトミズノが一九九四年に制定した。一九二七年の五月二十八日に神奈川県横浜兵衛の程ヶ谷カントリー倶楽部で第一回全日本オープンゴルフ選手権大会が開催されたことを記念して制定している)

ゴルフとの出会いはテレビゲームの影響でした。実際に本物のゴルフをやってみると、これほど楽しい事はないと思いました。何が楽しいかと言うと、色々ありますが特に言う color 色んな人とプレー出来る事です。そして、ゴルフをしてみていると話をしなくても同じパートナーの人と仲良くなれる所も好きです。

幼稚園の頃、僕は人間関係が上手く築けませんでした。しかしゴルフを始めからは、

友達も沢山できるようになりまし、ゴルフをやった事で沢山の人と出会えました。それで僕の人生はかなりプラスになったと思います。だから将来の目標は、プロゴルファーになつて、一生ゴルフに携わって生きていきたいと思つています。その為には、技術的にもメンタル的にも沢山やることはあると思います。ですが、両親にいつも言われる事は、人の気持ちの分かる人間になりなさい。という事です。具体的に言うて、

「自分がされて嫌な事は、人にしなさい。」

という人としての基本的な事だと思ひます。

それが出来れば人間関係を築いて行けると思ひますし、日常生活も円満になると思ひます。

ゴルフにおいても、スウィングの基本、マネージメントの基本など、当たり前前の事を守つていけばゴルフも上手いくのではないのでしょうか？もちろんそれが出来ないから皆苦勞をしまっているのですが、

だから僕は人としてのセオリーを守り、グ

ルフのセオリーを守って努力していきたいと
思っています。そして僕がいずれ結婚をして
子供が生まれた時も、同じ事を教えに行きた
いのです。